

授業科目名	保健医療と福祉	単位数	2単位
担当教員名	砂田 淳一郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 保健医療の動向、医療提供体制、政策と制度、専門職の役割や専門性、多職種連携の必要性などを理解する。 【到達目標】 本科目においては、下記の3点を到達目標とする。 ①保健医療制度の歴史の変遷について理解する（医療に関する基本的な考え方）。 ②医療提供体制の概要と仕組みについて理解する（医療分野に必要な制度・政策）。 ③保健医療分野の専門職の役割と連携について理解する（連携の中心を担うのはMSW）。			
授業の概要 従来は、病院の医療ソーシャルワーカー（MSW）が保健医療サービスに対する知識を必要としていたが、現在は地域支援に当たるすべてのソーシャルワーカー（SW）にとって、保健医療の動向、医療提供体制、政策と制度、専門職の役割や専門性、多職種連携の必要性などの理解は欠かせないものとなっている。そこで、本科目では広い視点から保健医療分野の概要について理解する。			
授業計画 授業計画 第1回：現代社会と保健医療の動向①－医療の定義、病者の理解、家族の理解、患者の権利 第2回：現代社会と保健医療の動向②－疾病構造の変化、医療施設から在宅医療へ 第3回：現代社会と保険医療の動向③－保健医療における福祉的課題 第4回：保健医療の政策・制度の理解①－保健医療制度の体系、医療法の概要、医療提供施設 第5回：保健医療の政策・制度の理解②－医療費の保障、社会保険制度 第6回：保健医療の政策・制度の理解③－その他の政策・制度 第7回：保健医療に係る倫理の理解①－医療倫理の定義、医療倫理と倫理的課題 等 第8回：保健医療に係る倫理の理解②－自己決定権の尊重、患者の意思決定をめぐる課題 第9回：保健医療領域における専門職の役割と連携①－保健医療領域における専門職 第10回：保健医療領域における専門職の役割と連携②－院内連携 第11回：保健医療領域における専門職の役割と連携③－地域医療連携、地域包括ケアシステム 第12回：保健医療領域における支援の実際①－医療ソーシャルワーカーの概要 第13回：保健医療領域における支援の実際②－保健医療ソーシャルワーク実践の歴史と動向 第14回：保健医療領域における支援の実際③－保健医療領域における支援の実際（事例検討） 第15回：本講義のまとめ 定期試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 最新社会福祉士養成講座5「保健医療と福祉」中央法規出版 978-4-8058-8248-1			
参考書・参考資料等 必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			